

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2017年3月6日から2027年3月5日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA 世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。 ■外国投資信託証券においては、世界のリアルアセット関連企業等が発行する債券、株式、リート等に投資します。運用は「ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー」が行い、ボトムアップの分析等により魅力的な銘柄を選定します。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ■市場動向に応じて『債券』、『株式』、『リート』等の資産配分を定期的に見直します。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)

## 【運用報告書(全体版)】

第14作成期（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

第 **79** 期 / 第 **80** 期 / 第 **81** 期  
決算日2023年10月5日 決算日2023年11月6日 決算日2023年12月5日

第 **82** 期 / 第 **83** 期 / 第 **84** 期  
決算日2024年1月5日 決算日2024年2月5日 決算日2024年3月5日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 期 騰 落 中 率			
55期 (2021年10月5日)	円 9,811	円 30	% △1.7	% 0.0	% 96.3	百万円 1,369
56期 (2021年11月5日)	10,270	30	5.0	0.0	96.3	1,384
57期 (2021年12月6日)	9,924	30	△3.1	0.0	96.1	1,297
58期 (2022年1月5日)	10,521	30	6.3	0.0	96.2	1,355
59期 (2022年2月7日)	10,036	30	△4.3	0.0	96.1	1,270
60期 (2022年3月7日)	9,888	30	△1.2	0.0	96.3	1,245
61期 (2022年4月5日)	10,838	30	9.9	0.0	96.0	1,347
62期 (2022年5月6日)	11,114	30	2.8	0.0	95.2	1,330
63期 (2022年6月6日)	10,873	30	△1.9	0.0	95.8	1,326
64期 (2022年7月5日)	10,571	30	△2.5	0.0	95.7	1,282
65期 (2022年8月5日)	10,830	30	2.7	0.0	96.1	1,314
66期 (2022年9月5日)	10,963	30	1.5	0.0	96.0	1,307
67期 (2022年10月5日)	10,706	30	△2.1	0.0	95.9	1,279
68期 (2022年11月7日)	10,779	30	1.0	0.0	95.8	1,271
69期 (2022年12月5日)	10,408	30	△3.2	0.0	95.8	1,222
70期 (2023年1月5日)	10,100	30	△2.7	0.0	87.8	1,183
71期 (2023年2月6日)	10,456	30	3.8	0.0	96.1	1,219
72期 (2023年3月6日)	10,331	30	△0.9	0.0	95.9	1,176
73期 (2023年4月5日)	10,018	30	△2.7	0.0	95.7	1,137
74期 (2023年5月8日)	10,258	30	2.7	0.0	95.8	1,158
75期 (2023年6月5日)	10,480	30	2.5	0.0	95.7	1,167
76期 (2023年7月5日)	10,869	30	4.0	0.0	95.9	1,207
77期 (2023年8月7日)	10,548	30	△2.7	0.0	95.6	1,172
78期 (2023年9月5日)	10,791	30	2.6	0.0	95.6	1,189
79期 (2023年10月5日)	10,357	30	△3.7	0.0	95.4	1,128
80期 (2023年11月6日)	10,668	30	3.3	0.0	95.5	1,144
81期 (2023年12月5日)	10,930	30	2.7	0.0	95.6	1,159
82期 (2024年1月5日)	10,984	30	0.8	0.0	93.3	1,116
83期 (2024年2月5日)	11,129	30	1.6	0.0	95.6	1,119
84期 (2024年3月5日)	11,255	30	1.4	0.0	95.6	1,126

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準	価額		公社債	組入比率	投資信託証券	組入比率	証券比率
			騰	落率					
第79期	(期首) 2023年9月5日	円	10,791	%	—	0.0	95.6	95.6	95.6
	9月末		10,640		△1.4	0.0	95.6	95.6	95.6
	(期末) 2023年10月5日		10,387		△3.7	0.0	95.4	95.4	95.4
第80期	(期首) 2023年10月5日		10,357		—	0.0	95.4	95.4	95.4
	10月末		10,369		0.1	0.0	95.5	95.5	95.5
	(期末) 2023年11月6日		10,698		3.3	0.0	95.5	95.5	95.5
第81期	(期首) 2023年11月6日		10,668		—	0.0	95.5	95.5	95.5
	11月末		10,855		1.8	0.0	95.6	95.6	95.6
	(期末) 2023年12月5日		10,960		2.7	0.0	95.6	95.6	95.6
第82期	(期首) 2023年12月5日		10,930		—	0.0	95.6	95.6	95.6
	12月末		10,926		△0.0	0.0	93.0	93.0	93.0
	(期末) 2024年1月5日		11,014		0.8	0.0	93.3	93.3	93.3
第83期	(期首) 2024年1月5日		10,984		—	0.0	93.3	93.3	93.3
	1月末		11,081		0.9	0.0	95.7	95.7	95.7
	(期末) 2024年2月5日		11,159		1.6	0.0	95.6	95.6	95.6
第84期	(期首) 2024年2月5日		11,129		—	0.0	95.6	95.6	95.6
	2月末		11,213		0.8	0.0	95.6	95.6	95.6
	(期末) 2024年3月5日		11,285		1.4	0.0	95.6	95.6	95.6

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,791円
作成期末	11,255円 (当作成期既払分配金180円(税引前))
騰落率	+6.0% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年9月6日から2024年3月5日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート(不動産関連株式)等に実質的に分散投資を行いました。

#### 上昇要因

- リアルアセット関連債券において、ベース金利の低下とクレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が縮小したため、プラスに寄与したこと
- リートにおいて、全ての地域が上昇しプラスに寄与したこと
- インフラ関連株式において、特に有料道路の運輸セクターがプラスに寄与したこと
- 為替市場において、米ドルが対円で上昇したこと

投資環境について（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

リアルアセット関連債券市場、リート市場およびインフラ関連株式市場は上昇しました。また、為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。

### リアルアセット関連債券市場

リアルアセット関連債券は上昇しました。米国長期金利（10年国債利回り）は一時5%を超えましたが、F R B（米連邦準備制度理事会）が2024年の利下げ開始を示唆したことで低下に転じ、クレジットスプレッドの縮小基調が続いたことでプラスとなりました。

### インフラ関連株式市場

インフラ関連株式は上昇しました。堅調なマクロ経済データ、特に通信や公益など金利感応度の高いセクターにとって、金利上昇に関する懸念が後退したことから、全ての地域が上昇し、プラスとなりました。

### リート市場

リートは上昇しました。主要国の長期金利が低下に転じたことが好感され、全ての地域が上昇し、特に北欧の上昇が顕著となりました。セクター別では堅調なマクロ経済データを背景に小売りセクターが上昇しました。

### 為替市場

為替市場では、F R Bが政策金利を「より高く、より長く」維持するとの見方が広がり、10月まで米ドル高基調が続きました。その後、経済指標の軟化やインフレ鈍化が鮮明となり米国の長期金利上昇がピークアウトし、F R Bがタカ派（インフレ抑制を重視する立場）姿勢を大きく後退させたことから、米ドル円相場は下落しました。

年初以降は、能登半島地震を受けて日銀による早期のマイナス金利解除観測が後退したことから再び米ドル高・円安となり、期を通じて見れば米ドル円相場は上昇しました。

ポートフォリオについて（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

## 当ファンド

主要投資対象である「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」を運用期間を通じて高位に組み入れました。

## ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

当ファンドでは、2024年は成長が鈍化し、主要中央銀行はインフレが再加速しないように政策金利を制限的な水準に維持すると予想に基づき、ポジショニングは引き続

きディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）な戦略としました。そのため、リートをアンダーウェイト、リアルアセット関連債券をオーバーウェイトとするポートフォリオを維持しました。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### 分配金について（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	(0.29%)	(0.28%)	(0.27%)	(0.27%)	(0.27%)	(0.27%)
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,836	1,856	1,874	1,887	1,905	1,923

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

リアルアセット関連債券においては、今年は選挙の年であり財政政策が成長を下支えする可能性が高く、今後数四半期は景気減速が緩やかなものにとどまると予想しています。楽観的な経済成長シナリオでも、金利コストの上昇と借り換えニーズにより、デフォルト率は引き続き上昇傾向にあると予想しています。リアルアセット・セクターの発行体は相対的に固定金利債の割合が高く、償還期限も相対的に短い特徴があり、ハイ・イールド・セクターのスプレッドは相対的に魅力的であると考えています。セクターでは、インフラ・セクターと不動産セクターの債券に投資機会を見出しています。

インフラ関連株式に関しては、金利がより正常な長期レンジに戻ることが予想されることから、上場インフラ・セクターは魅力的なリターンを生み出す好位置にあると引き続き考えています。このセクターは歴史的に金利がピークアウトした後に非常に高いパフォーマンスを示す傾向があります。また公益セクターは相対的により広範な株式市場に比べ歴史的に割安に見えます。再生可能エネルギー・セクターでは、ファンダメンタルズ(基礎的条件)が改善する中、前向きなセンチメントが浸透し始めていると考えており、投入コストが下がり、サプライチェーンの逆風が収まり始めたことで、新規プロジェクトの収益性が改善するとみえています。

リートに関しては、2023年第4四半期の上昇にもかかわらず、世界の不動産は引き続き力強いリターンを生み出す好位置にあると考えています。米国では現在、資本アクセスの良い優良企業を選好しており、ネット・リースと通信タワーが最も積極的に投資しているセクターです。小売セクターでは、よりディフェンシブで、より高い成長が期待できるショッピングセンターを選好しています。セルフ・ストレージについては、ファンダメンタルズが今後数ヶ月で改善し始めるとみえています。一方、オフィスには引き続き警戒的な見方を維持し

ています。

地域別では、欧州へのエクスポージャーを高めており、特に欧州大陸の住宅、小売、産業用地主の間では、全般的に好意的な見方をしています。英国では、学生寮セクターが魅力的な機会を提供すると考えています。アジア太平洋地域については、主に中国経済の減速と、それに関連する不動産セクターの債務問題により、慎重な見方を

維持しています。香港では、中国経済の減速に伴うリスクを反映しアンダーウェイトを維持しています。

---

### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	61円	0.563%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,862円です。
（投信会社）	(21)	(0.192)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(39)	(0.357)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(－)	(－)	
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
（保管費用）	(－)	(－)	
（監査費用）	(1)	(0.005)	
（その他）	(0)	(0.001)	
合計	62	0.568	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

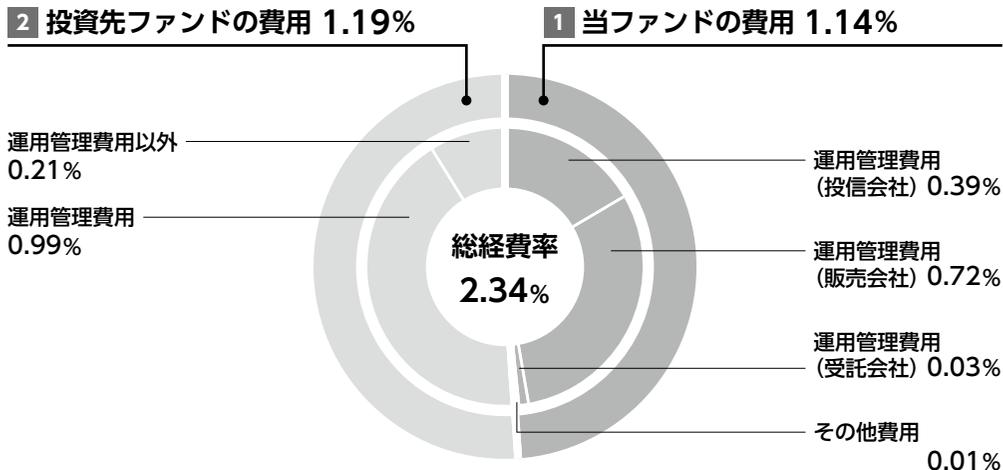
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>2.34%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.14%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.99%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>0.21%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算した経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.34%です。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

投資信託証券

			当 作		成 期	
			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	アメリカ	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA	5,560	千アメリカ・ドル 464	13,802	千アメリカ・ドル 1,156

※金額は受渡し代金。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2023年9月6日から2024年3月5日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

区 分	当 作			成 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 2,128	百万円 721	% 33.9	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

種 類	当 作		成 期	
	買 付 額	売 付 額	買 付 額	作成期末保有額
公 社 債	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 100

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社です。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年9月6日から2024年3月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2024年3月5日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	作 成 期 首		作 成 期 末		組 入 比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(その他)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA	93,289.46	85,047.22	7,160	1,077,026	95.6
合 計	93,289.46	85,047.22	—	1,077,026	95.6

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 466	千口 466	千円 473	千円 473

※キャッシュ・マネジメント・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は3,547,919,266口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2024年3月5日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,077,026	% 95.2
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	473	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	53,671	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,131,170	100.0

※作成期末における外貨建資産（1,101,428千円）の投資信託財産総額（1,131,170千円）に対する比率は97.4%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.42円です。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月5日) (2023年11月6日) (2023年12月5日) (2024年1月5日) (2024年2月5日) (2024年3月5日)

項 目	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末	第 84 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>1,135,986,320円</b>	<b>1,151,659,681円</b>	<b>1,165,487,523円</b>	<b>1,152,783,673円</b>	<b>1,124,105,980円</b>	<b>1,131,403,289円</b>
コール・ローン等	51,812,226	51,260,790	50,911,337	51,706,532	48,901,332	49,507,197
投資信託受益証券(評価額)	1,077,427,096	1,092,632,466	1,108,425,033	1,040,841,913	1,070,099,483	1,077,026,070
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	473,675	473,581	473,628	473,768	473,721	473,675
未 収 入 金	6,273,323	7,292,844	5,677,525	59,761,460	4,631,444	4,396,347
<b>(B) 負 債</b>	<b>7,100,527</b>	<b>7,429,829</b>	<b>5,820,722</b>	<b>36,633,675</b>	<b>4,554,631</b>	<b>4,527,087</b>
未 払 金	716,582	1,708,233	368,284	29,001,889	204,950	465,314
未払収益分配金	3,269,934	3,217,712	3,182,953	3,048,382	3,017,801	3,003,535
未 払 解 約 金	2,014,930	1,369,250	1,206,251	3,463,395	217,682	—
未払信託報酬	1,088,899	1,114,170	1,033,233	1,079,966	1,064,311	999,163
その他未払費用	10,182	20,464	30,001	40,043	49,887	59,075
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>1,128,885,793</b>	<b>1,144,229,852</b>	<b>1,159,666,801</b>	<b>1,116,149,998</b>	<b>1,119,551,349</b>	<b>1,126,876,202</b>
元 本	1,089,978,317	1,072,570,929	1,060,984,591	1,016,127,341	1,005,933,733	1,001,178,659
次期繰越損益金	38,907,476	71,658,923	98,682,210	100,022,657	113,617,616	125,697,543
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,089,978,317口</b>	<b>1,072,570,929口</b>	<b>1,060,984,591口</b>	<b>1,016,127,341口</b>	<b>1,005,933,733口</b>	<b>1,001,178,659口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>10,357円</b>	<b>10,668円</b>	<b>10,930円</b>	<b>10,984円</b>	<b>11,129円</b>	<b>11,255円</b>

※当作成期における作成期首元本額1,101,991,180円、作成期中追加設定元本額15,624,661円、作成期中一部解約元本額116,437,182円です。  
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 損益の状況

〔自2023年9月6日〕〔自2023年10月6日〕〔自2023年11月7日〕〔自2023年12月6日〕〔自2024年1月6日〕〔自2024年2月6日〕  
〔至2023年10月5日〕〔至2023年11月6日〕〔至2023年12月5日〕〔至2024年1月5日〕〔至2024年2月5日〕〔至2024年3月5日〕

項 目	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期	第 84 期
(A) 配 当 等 収 益	5,481,034円	5,437,566円	5,291,968円	4,978,861円	5,062,779円	5,111,248円
受 取 配 当 金	5,482,728	5,438,105	5,292,401	4,979,893	5,063,364	5,111,436
受 取 利 息	70	2	28	7	14	—
支 払 利 息	△ 1,764	△ 541	△ 461	△ 1,039	△ 599	△ 188
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 48,431,358	32,228,946	26,720,030	4,677,182	13,555,217	11,521,279
売 買 益	18,216,708	32,507,431	45,522,609	22,134,206	27,948,218	12,178,482
売 買 損	△ 66,648,066	△ 278,485	△ 18,802,579	△ 17,457,024	△ 14,393,001	△ 657,203
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,099,054	△ 1,124,534	△ 1,042,840	△ 1,090,053	△ 1,074,222	△ 1,014,577
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 44,049,378	36,541,978	30,969,158	8,565,990	17,543,774	15,617,950
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	95,008,503	46,823,592	79,240,723	102,439,207	106,110,399	120,010,333
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,781,715	△ 8,488,935	△ 8,344,718	△ 7,934,158	△ 7,018,756	△ 6,927,205
(配当等相当額)	( 56,617,690)	( 56,027,715)	( 55,497,627)	( 53,235,961)	( 53,683,049)	( 53,494,204)
(売買損益相当額)	(△ 65,399,405)	(△ 64,516,650)	(△ 63,842,345)	(△ 61,170,119)	(△ 60,701,805)	(△ 60,421,409)
(G) 合 計 (D + E + F)	42,177,410	74,876,635	101,865,163	103,071,039	116,635,417	128,701,078
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,269,934	△ 3,217,712	△ 3,182,953	△ 3,048,382	△ 3,017,801	△ 3,003,535
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	38,907,476	71,658,923	98,682,210	100,022,657	113,617,616	125,697,543
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,781,715	△ 8,488,935	△ 8,344,718	△ 7,934,158	△ 7,018,756	△ 6,927,205
(配当等相当額)	( 56,617,690)	( 56,027,715)	( 55,497,627)	( 53,235,961)	( 53,683,049)	( 53,494,204)
(売買損益相当額)	(△ 65,399,405)	(△ 64,516,650)	(△ 63,842,345)	(△ 61,170,119)	(△ 60,701,805)	(△ 60,421,409)
分 配 準 備 積 立 金	143,598,007	143,049,178	143,366,895	138,590,057	137,972,724	139,052,776
繰 越 損 益 金	△ 95,908,816	△ 92,091,320	△ 36,339,967	△ 30,633,242	△ 17,336,352	△ 6,428,028

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期	第 84 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,382,117円	5,275,304円	5,119,740円	4,416,981円	4,770,815円	4,799,591円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	56,617,690	56,027,715	55,497,627	53,235,961	53,683,049	53,494,204
(d) 分配準備積立金	142,485,824	140,991,586	141,430,108	137,221,458	136,219,710	137,256,720
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	203,485,631	202,294,605	202,047,475	194,874,400	194,673,574	195,550,515
1万口当たり当期分配対象額	1,866.88	1,886.07	1,904.34	1,917.81	1,935.25	1,953.20
(f) 分配金	3,269,934	3,217,712	3,182,953	3,048,382	3,017,801	3,003,535
1万口当たり分配金	30	30	30	30	30	30

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA
形態	ケイマン籍契約型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界のリアルアセット（インフラストラクチャー、不動産、天然資源など）関連の企業等が発行する債券、株式、リートなどに投資します。</li> <li>●基本資産配分は、債券50%、インフラ株式25%、リート25%とし、市場環境等によって資産配分を変動させます。</li> <li>●原則として対円で為替ヘッジは行いません。</li> <li>●資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の投資信託協会の規則に従って計算される、同一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーは、原則として、それぞれ純資産総額の10%以内、合計で純資産総額の20%以内とします。</li> <li>●投資信託証券（上場投資信託を除く）への投資は、原則としてファンドの純資産総額の5%以内とします。上場投資信託への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>●流動性に欠ける資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。</li> <li>●有価証券の空売りは行わないものとします。</li> <li>●デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	原則として毎月行います。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <p>運用報酬 年0.65%程度          受託会社報酬 年0.015%程度          事務代行費用等 年0.025%程度</p> <p>※上記のほか、保管費用などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。          また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」をシェアクラスとして含む「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### ■ 包括利益計算書（2023年3月31日に終了した年度）

	2023年 (米ドル)
収益	
現金及び現金同等物の金利収益	17
損益を通じて公正価値で測定される負債性及び貸付証券の金利収益	477, 896
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の配当収益	301, 517
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および負債の純損益	(2, 743, 382)
損益合計	(1, 963, 952)
費用	
配当費用	81
管理報酬	119, 603
受託報酬	2, 757
管理事務代行報酬	9, 596
保管報酬	56, 016
監査報酬	34, 543
マイナス金利費用	145
その他の手数料及び費用	4, 836
費用合計	227, 577
税引前損益	(2, 191, 529)
配当金に係る源泉税	(69, 603)
当期包括損益	(2, 261, 132)

## 世界リアルアセット・バランス（毎月決算型）

### 組入上位銘柄

（基準日：2023年3月31日）

	銘柄名	組入比率
1	Prologis Inc	2.0%
2	Transurban Group	1.4%
3	CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp	1.4%
4	NextEra Energy Inc	1.3%
5	T-Mobile USA Inc	1.1%
6	American Electric Power Co Inc	1.0%
7	Occidental Petroleum Corp	0.9%
8	Crown Castle Inc	0.9%
9	Public Storage	0.9%
10	PG&E Corp	0.9%
	全銘柄数	220銘柄

※比率は債券、株式、リート、現金等の時価総額を100%として計算した値です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

第17期（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年2月20日）
運用方針	■本邦貨建て公社債および短期金融商品等に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
13期（2019年7月25日）	円	10,167	△0.0	72.9	百万円 3,760
14期（2020年7月27日）		10,160	△0.1	86.2	4,668
15期（2021年7月26日）		10,154	△0.1	62.8	5,851
16期（2022年7月25日）		10,152	△0.0	75.3	4,586
17期（2023年7月25日）		10,148	△0.0	68.8	3,220

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

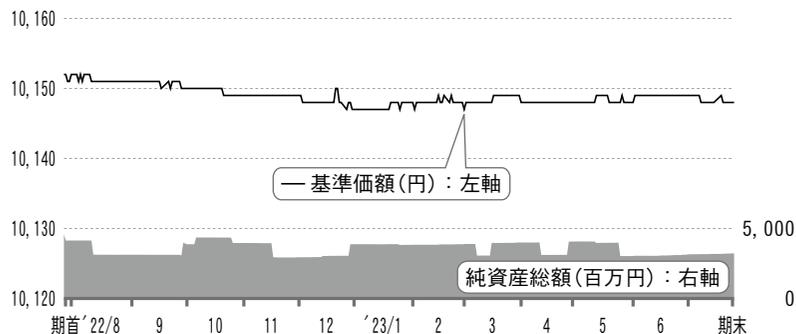
年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年7月25日	円	10,152	—	75.3
7月末		10,152	0.0	83.4
8月末		10,151	△0.0	71.2
9月末		10,150	△0.0	68.4
10月末		10,149	△0.0	74.4
11月末		10,149	△0.0	78.8
12月末		10,147	△0.0	59.7
2023年1月末		10,148	△0.0	55.5
2月末		10,147	△0.0	61.9
3月末		10,148	△0.0	65.2
4月末		10,148	△0.0	55.8
5月末		10,148	△0.0	83.0
6月末		10,149	△0.0	79.9
(期 末) 2023年7月25日		10,148	△0.0	68.8

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	10,152円
期末	10,148円
騰落率	-0.0%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

上昇要因	・ 保有している公社債からスプレッド（国債に対する上乗せ金利）分のインカム収入を得たこと
下落要因	・ マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化していること

---

**▶ 投資環境について (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

期間における国内短期金融市場は、マイナス圏で推移しました。

世界的にインフレが高止まりを続けたことや、欧米中央銀行による大幅な利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+4%台まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、欧米での金融不安の影響でリスク回避の動きが強まるなど一時的に大きく低下する局面もありました。しかし、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期間を通じて概ねレンジ推移となりました。

---

**▶ ポートフォリオについて (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

---

**▶ ベンチマークとの差異について (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

植田新体制となった日本銀行は、内外経済や金融市場を巡る不確実性が高い中、物価安定の目標を実現するために、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の枠組みによる緩和政策を維持する姿勢を示しています。又、政策金利の引き上げに関してもかなりの距離があるというスタンスであり、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0円 (0)	0.001% (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	0	0.001	

期中の平均基準価額は10,149円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

#### 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	特 殊 債 券	2,588,525	1,115,668 (2,295,000)
	社 債 券	1,003,960	200,380 (1,200,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年7月26日から2023年7月25日まで)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	3,592	351	9.8	1,316	400	30.4

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2022年7月26日から2023年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	1,512,000 (1,512,000)	1,515,449 (1,515,449)	47.1 (47.1)	— (—)	— (—)	— (—)	47.1 (47.1)
普 通 社 債 券	700,000 ( 700,000)	700,906 ( 700,906)	21.8 (21.8)	— (—)	— (—)	— (—)	21.8 (21.8)
合 計	2,212,000 (2,212,000)	2,216,355 (2,216,355)	68.8 (68.8)	— (—)	— (—)	— (—)	68.8 (68.8)

※ ( ) 内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除く金融債券)	195 政保道路機構	0.9110	211,000	211,036	2023/07/31
	51政保地方公共団	0.8350	51,000	51,024	2023/08/14
	52政保地方公共団	0.8010	400,000	400,470	2023/09/15
	202 政保道路機構	0.6990	200,000	200,416	2023/10/31
	207 政保道路機構	0.6930	250,000	250,799	2023/12/28
	56政保地方公共団	0.7470	200,000	200,780	2024/01/19
	19 政保中部空港	0.6450	200,000	200,922	2024/03/18
小 計		—	1,512,000	1,515,449	—
普 通 社 債 券	10 ダイセル	1.0500	100,000	100,127	2023/09/13
	4 第一三共	0.8460	100,000	100,107	2023/09/15
	16 T H K	0.0100	100,000	99,990	2023/09/15
	16 パナソニック	0.3000	100,000	100,029	2023/09/20
	62 名古屋鉄道	0.0010	100,000	99,990	2023/10/26
	124 東武鉄道	0.0010	100,000	99,981	2023/11/27
381 中国電力	0.9530	100,000	100,678	2024/04/25	
小 計		—	700,000	700,906	—
合 計		—	2,212,000	2,216,355	—

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年7月25日現在)

項 目	期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
	2,216,355		68.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,004,177		31.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,220,533		100.0

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年7月25日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>3, 220, 533, 245円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1, 000, 072, 870
公 社 債 (評価額)	2, 216, 355, 807
未 収 利 息	4, 026, 107
前 払 費 用	78, 461
<b>(B) 負 債</b>	<b>132, 158</b>
未 払 解 約 金	129, 805
そ の 他 未 払 費 用	2, 353
<b>(C) 純 資 産 総 額 (A - B)</b>	<b>3, 220, 401, 087</b>
元 本	3, 173, 308, 529
次 期 繰 越 損 益 金	47, 092, 558
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>3, 173, 308, 529口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	<b>10, 148円</b>

※当期における期首元本額4,518,439,727円、期中追加設定元本額4,568,402,225円、期中一部解約元本額5,913,533,423円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMBCファンドラップ・日本バリュー株	984,252円
SMBCファンドラップ・J-REIT	984,252円
SMBCファンドラップ・G-REIT	93,018,163円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	311,216,889円
SMBCファンドラップ・米国株	984,543円
SMBCファンドラップ・欧州株	89,718,432円
SMBCファンドラップ・新興国株	61,111,034円
SMBCファンドラップ・コモディティ	30,882,058円
SMBCファンドラップ・米国債	136,874,567円
SMBCファンドラップ・欧州債	68,341,252円
SMBCファンドラップ・新興国債	54,958,024円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	167,596,581円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	27,029,827円
SMBCファンドラップ・日本債	964,891,078円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・円コース (毎月分配型)	598,887円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型)	606,168円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	347,745円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース (毎月分配型)	619,829円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)	468,047円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型)	886,592円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	160,540,296円
大和証券 中国株式ファンド (マネー・ポートフォリオ)	23,023,407円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・中国元コース (毎月分配型)	354,941円

日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	438,760円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
日本株225・米ドルコース	49,237円
スマート・ストラテジー・ファンド (毎月決算型)	12,541,581円
スマート・ストラテジー・ファンド (年2回決算型)	4,566,053円
カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)	433,260円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型)	25,219円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型)	565,128円
グローバル創薬関連株式ファンド	984,834円
世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)	466,767円
世界リアルアセット・バランス (資産成長型)	598,196円
米国分散投資戦略ファンド (1倍コース)	532,269,094円
米国分散投資戦略ファンド (3倍コース)	419,719,410円
米国分散投資戦略ファンド (5倍コース)	445,153円
グローバルDX関連株式ファンド (予想分配金提示型)	295,276円
グローバルDX関連株式ファンド (資産成長型)	1,968,504円
日興FWS・日本株クオリティ	19,697円
日興FWS・日本株市場型アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・日本債アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・Jリートアクティブ	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略	19,697円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2022年7月26日 至2023年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	18,678,439円
受 取 利 息	19,164,050
支 払 利 息	△ 485,611
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△19,826,607
売 買 益	64,000
売 買 損	△19,890,607
(C) そ の 他 費 用 等	△ 37,796
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,185,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	68,548,674
(F) 解 約 差 損 益 金	△88,179,394
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	67,909,242
(H) 合 計 (D + E + F + G)	47,092,558
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	47,092,558

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。